

川とのふれあい

六年 横井川 愛

私の住んでいる家の近くには、中川という川が流れています。その中川のイメージは、毎日変わらず、ふつうに流れているだけで、川の近くに住んでいるからと、特に気にしたり、水遊びをしたりすることはありません。けれど、私のイメージとはちがう川に行ったことがありません。埼玉県秩父市にある荒川の中流の長瀬で私は、川下りをしたことがあります。

ます。その長瀬は、流水が速く、岩がごつごつしていました。船の船頭さんが、所々ある変な形をした岩をした岩の説明を丁寧にしてくれました。特に印象に残っているのが、かめの形をした岩です。川の流れなどによつて、自然にけずられ、できることはすごいと思います。た。川下りは、思ったよりも川の流れが速く、近くの岩に水があたり、ツバシャールと波のようになるので、船の両サイドにあるビニールのもので水がかからないように防いだりと、

No. _____
スリルマンで、楽しかったです。また、

お父さんが教えてくれた、平らな石を投げて遊ぶのにチャレンジしてみました。しかし、思っていた以上に難しく、上手にできませんでした。周りは、急命胴衣をつけて、川遊びをしている人もいました。次は、やっとみたと思います。

帰る時に突然、雨がバケツをひっくり返したかのようにふってきました。船頭さんたちがあわてて走っているのが見えました。その

No. _____
後、川の様子を見に行きませんでした。さつきよりも流れが速くなっていると思います。空気がおいしく、自然と心あえ、楽しい思い出ができたけれど、さつきはおだやかだった川が、雨により危険な川になっているということを考えると、川・自然と付き合うことは、大変なことなんだと、あらためてわかりました。けれど、自然は大切だから、川もきれいな方が気分も落ち付いて、いいと思いました。